

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	055 -	事業名	総合型スポーツクラブ運営事業	担当部課	くらし文化部生涯学習課
------	-------	-----	----------------	------	-------------

基本情報	第5次総合計画・基本方針	✓ 文化をみがき、人が輝くまち	会計区分	一般会計
	まちづくり行程表・フラッグ	—	予算区分(款 - 項 - 目)	
	第6次総合計画・基本目標	✓ いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪	9-5-1 保健体育費	
	法定受託事務の有無	—		
	その他(関係計画、要綱等)	—		
事業開始の背景、経緯等		地域と密着したスポーツ及びレクリエーション活動を通して、住民の健康づくり、地域社会の活性化に寄与することを目標とし、「いつでも、どこでも、誰でも」を合言葉に、子どもから高齢者、初心者から上級者まで参加できる各種スポーツ教室やイベントを開催する総合型地域スポーツクラブの運営を図る。		

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) いつでも、どこでも、誰でも参加できる様々な年齢を問わず参加できるスポーツ教室や健康づくり教室の開催や場の提供を行う総合型地域スポーツクラブの運営推進			
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民(在勤、在学含む)			
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 地域と密着したスポーツ及びレクリエーション活動を通して、市民の健康づくり、地域社会の活性化に寄与する。			
	事業を構成する事務事業(B票)	① 総合型地域スポーツクラブ運営事業	改善・見直し	④	
	②		⑤		
	③		⑥		

コスト推移	項目	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
	事業費(A)		千円	予算	2,833	3,181	3,526	3,572
決算				2,170	2,879	2,712	2,752	
人件費(B)		千円	決算	2,901	3,430	4,219	2,316	
総コスト(A)+(B)		千円	決算	5,071	6,309	6,931	5,068	

成果推移	成果指標	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
	A	会員数	人	目標	422	469	570	598
実績				447	543	570	516	
B			目標					
			実績					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 年度更新である会員数の増加を目標とする。前年の会員数+5%を目指す。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 各市町で独自にクラブ運営を実施。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 会員数598人の目標に対し、実績は516人となり目標を達成できなかった。
	過去5年間の振り返り	(過去5年間の事業の進捗状況、改善状況などの振り返り) 教室内容等の見直しを行った結果、5年前と比較し会員数は増加している。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 市から独立したクラブ運営となっておらず、自立組織の形成が必要である。 また、スポーツ教室等事業については、漫然と前年度事業を踏襲するのではなく、市民ニーズを的確に把握する必要がある。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 自立に向けた組織の形成及び事業のあり方について、関係者と検討するとともに、クラブの活動拠点についても検討していく。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 平成35年度までに、行政から独立した総合型地域スポーツクラブを立ち上げる。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	<ul style="list-style-type: none">・令和元年度からは、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえて、事業を進めてください。・事業意図などから「協働の可能性」について、研究・検討してください。・他の健康づくり事業との連携を図ってください。
------	-------------------------	---

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	総合型スポーツクラブ運営事業	担当部課	くらし文化部生涯学習課	決算書ページ	—
事務事業名	① 総合型地域スポーツクラブ運営事業	予算区分	9-5-1 保健体育費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	平成24年度		終了(予定)年度	-

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 地域と密着したスポーツ及びレクリエーション活動を通して、市民の健康づくり、地域社会の活性化に寄与することを目標とし、「いつでも、どこでも、誰でも」を合言葉に、子どもから高齢者、初心者から上級者まで参加できる各種スポーツ教室やイベントを開催する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 地域と密着したスポーツ及びレクリエーション活動を通して、市民の健康づくり、地域社会の活性化に寄与する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
			(2015)	(2016)	(2017)	(2018)	(2019)
事業費	千円	予算	2,833	3,181	3,526	3,572	3,480
		決算	2,170	2,879	2,712	2,752	
<備考：事業費の主な内訳（30年度(2018)）> (1) 総合型地域スポーツクラブ教室等講師委託 1,569 千円 (2) 総合型地域スポーツクラブ指導者報償金 924 千円 (3) 入場料 178 千円							

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
			(2015)	(2016)	(2017)	(2018)	(2019)
会員数	人	見込	422	469	570	598	541
		実績	447	543	570	516	
<備考：活動の概要（30年度(2018)）> 子どもから高齢者、初心者から上級者まで参加できる教室を開催し、516人の会員登録があった。H31年度の目標は、会員登録数を前年度の+5%とする。							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

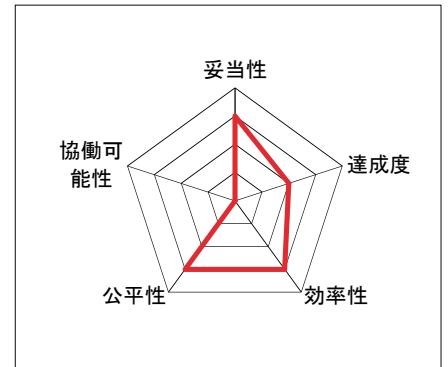
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) スポーツが多様化し、スポーツに対するニーズも様々なものとなっている。また、ヨガなどの健康を意識した運動が増加している。

5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況		
(前年度【予算額】)	(今年度【予算額】)	(増減額)
3,572 千円	3,480 千円	△ 92 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》		
・前年度【今後の方向性】	改善・見直し	
・前年度【コメント】	・スポーツの多様化に対応し、スポーツに親しみのない人にもスポーツを通じた健康づくりを促していくため、毎年同様の教室ではなく、アンケートを行うなど市民のニーズを把握し、事業展開していく必要がある。 ・クラブの活動拠点を整備検討していくとともに、自立組織の形成を図っていく必要がある。	
(3) 改善状況		
(何をどのような状態に改善したのか)		
・アンケートの実施により、参加者のニーズを把握し、教室内容の見直しや講師と情報共有を行った。		

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働可能性	-



【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数 (人)				
区分	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
見込	-	-	-	-
実績	-	-	-	-
(2) 協働の状況 (30年度(2018))				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				
市民協働する事業でないため、評価できない。				

【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)
子どもから大人まで、市内のスポーツ施設を使用したスポーツ教室を開講し、健康と体力の維持増進に貢献できた。

【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など)
・クラブの活動拠点を整備検討していくとともに、クラブマネージャーの育成及び自立組織の形成を図っていく必要がある。

7. 今後の方向性

改善・見直し